

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

| | |
|-----------------|--|
| ① 重点施策項目名 | 市民協働のまちづくりを進めます〔6-1〕 |
| ② 目標値 | まちづくり活動の担い手育成に関する講座数 〔平成28年度〕現状値 0講座 ⇒ 平成28年度末 1講座 〔5年後〕現状値 0講座 ⇒ 平成32年度 8講座 |
| ③今年度の取組方針 | 今年度は、まちづくり推進協議会等との連携を図りながら、まちづくり活動の運営に参画していただける方（担い手、サポーター）の育成を目的とした講座をまちづくり推進センター事業として開催します。 |
| ④上半期の取組内容 | まちづくり推進協議会と、まちづくり活動の担い手の現状や課題等について意見交換を行いました。 麓地区まちづくり推進協議会が主催される「史跡めぐりウォーキング」の開催にあわせ、史跡ガイド（まちづくり活動の担い手）の育成及びまちづくり活動への参加を促すことを目的とし、10月に麓まちづくり推進センターの主催講座として「麓村沿革史を読む」及び「麓の郷土歌を読む」を実施します。 |
| ⑤下半期の取組内容 | 麓地区まちづくり推進協議会が主催する行事（10/30）にあわせた史跡ガイド（まちづくり活動の担い手）の育成については、事前研修（10/6）、事後研修（11/17）を行い、延べ52人の参加がありました。 また、まちづくり推進協議会の活動内容の紹介や活動への参加を呼びかけるため、市報とす、テレビ広報とすを活用した広報を行いました。 市民活動センターの充実については、より多くの市民に市民活動センターを利用してもらう取組みとしてクローバーカフェで市民が興味をもつ講座を開催しました（10/1 相続）。また、担い手育成に関する講座として市民活動団体を対象に「広報ミニ講座」を開催（1/21 市民活動団体大交流会）しました。 |
| ⑥数値目標の結果 | 今年度は、麓まちづくり推進センターで1講座を実施しました。 |
| ⑦成果と課題（次年度に向けて） | まちづくり推進協議会との連携を図り、地域の状況に応じたまちづくり活動の担い手育成に取り組むことができました。今後は、講座に参加された方々が、まちづくり活動の担い手となっただけできるよう、講座内容の検討を行い、継続的な講座開催に努めてまいります。 また、全てのまちづくり推進センターで、担い手育成に関する講座を開催することに努めてまいります。 市民活動センターにおいても、担い手育成に関する講座の開催や交流の場づくりに努めてまいります。 |

◇所管部長の指示

上半期

まちづくり推進協議会の更なる活性化には、人材の育成が重要であることから、様々な取り組みによる育成・参画を進めること。また、市民活動センターの充実についても具体的な取り組みを進めること。

下半期

まちづくりの担い手育成については、今後のまち協の発展に必要な事柄であり、本年度からその一歩を踏み出すことができた。すぐには成果は表れないが、粘り強く確実な育成を進めていくことが重要であり、一層の各地区への広がりを推進すること。

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

| | |
|-----------------|--|
| ①重点施策項目名 | 市民の声を広く聴く機会の充実に図ります〔6―1〕 |
| ②目標値 | 市民提案箱・WEB 提案箱への提案件数 〔平成28年度〕現状値 162件 ⇒ 平成28年度末 170件 〔5年後〕現状値 162件 ⇒ 平成32年度 170件 |
| ③今年度の取組方針 | 今年度は、これまで市民からの意見の提出が少なかったパブリック・コメントについて、より多くの意見の提出を促すため、庁内各課へパブリック・コメント制度を周知するとともに、ホームページへ案件の概要を掲載する等、市民へ分かりやすく案件を提示していきます。 |
| ④上半期の取組内容 | 9月15日現在、市民提案箱32件、WEB 提案箱（メール含）36件、計68件の提案がありました。 また、9月末時点で、市長と語るふれあいトークンを5回実施しました。 上半期は、パブリック・コメントの実施はありませんでした。 |
| ⑤下半期の取組内容 | 10月から1月まで、市民提案箱16件、WEB 提案箱（メール含）17件、計33件の提案がありました。 また、市長と語るふれあいトークンを3回実施しました。 パブリック・コメントについては、5件実施し、デジタルサイネージへの掲載等、積極的な広報活動や市民にわかりやすい広報について実施担当課と協議し取り組みました。 |
| ⑥数値目標の結果 | 市民提案箱・WEB 提案箱への提案件数は4月から1月まで104件でした。 |
| ⑦成果と課題（次年度に向けて） | <ul style="list-style-type: none"> ・市民提案については、所管課と協議し、市民に対し適切でわかりやすい対応となるように努めます。 ・市長と語るふれあいトークンは、広く市民の声をきく機会であり、活発な意見交換ができるように、内容や実施方法について検討し実施します。 ・パブリック・コメントについては、実施担当課と協議し、積極的な広報活動、市民にわかりやすい広報に努めていきます。 |

◇所管部長の指示

上半期

市民提案については、行政には見えにくい課題が指摘されることも多く、各課に対しても、真摯に向き合うよう助言すること。また、下半期にはパブコメ対応が見込まれることから、十分に所管課との協議を行うこと。

下半期

パブリックコメントについては、市民の方にわかりやすい方法での周知や広報を新たな取り組みとして実施できた。成果としては、まだ浸透していない状況ではあるが、今後、更なる対応を検討すること。また、市民提案箱については、各課との連携も図りながら進められている。
市長と語るふれあいトークンは、市民からの意見を参考によりよい内容となるよう具体的な見直しについても検討がなされている。

市民協働推進課長の仕事宣言！ 進行管理表

市民協働推進課長 宮原 信

| | |
|------------------|--|
| ①重点施策項目名 | 男女共同参画の意識を育て、豊かで多様な生き方を支える取組を進めます |
| ②目標値 | 男女共同参画に関する講座等の参加者数 現状値 1, 108人 ⇒ 平成28年度 1, 300人 ⇒ 平成32年度 1, 300人 |
| ③今年度の取組方針 | 性別による固定的役割分担意識を解消し、お互いを尊重する男女共同参画意識を高めるため、啓発活動を推進します。また、平成29年度に予定している第2次鳥栖市男女共同参画行動計画の改訂にあたり、男女共同参画社会における市民意識調査を行い、実態と問題点を探ります。 |
| ④上半期の取組内容 | とす男女共同参画市民実行委員会と協働で、5月に子どもとのかかわり方セミナー、6月に男女共同参画週間、8月に男性の料理入門、9月に女性のための起業セミナーを開催しました。 また、審議会・委員会等の女性登用率向上に向けた施策として、審議会等新設時及び改選時における女性委員の登用について、事前協議制度を導入しました。 8月下旬から9月上旬にかけ、市民2, 000人を対象に男女共同参画社会に関する市民意識調査を行いました。(回答率: 約35%) |
| ⑤下半期の取組内容 | とす男女共同参画市民実行委員会と協働で、10月に女性のための再就職支援セミナー、12月に市民フェスタでの啓発、1月に男女共同参画セミナー、2月に女性のための政策参画セミナーを開催しました。 また、11月に女性に対する暴力をなくす運動で、パープルリボン運動に参加し広報を行ったほか、市内中学生に啓発チラシを配布しました。 男女共同参画社会に関する市民意識調査結果を作成し、懇話会等で分析を行いました。 |
| ⑥数値目標の結果 | 男女共同参画に関する講座等の参加者数 (※各課実施分は除く) 現状値⇒223人 (平成27年度⇒783人) |
| ⑦成果と課題 (次年度に向けて) | 男女共同参画社会に関する市民意識調査の結果を参考とし、第2次鳥栖市男女共同参画行動計画を改訂します。 女性委員登用のための事前協議制度を導入した結果、改善が見られました。引き続き取り組み、庁内意識の向上を目指します。 |

◇所管部長の指示

上半期

第2次男女共同参画行動計画の改訂のための調査、検討が適切に進められている。また、女性委員登用のための具体的な対応も進められた。今後は、それぞれの取り組みが庁内意識の向上につながるよう更なる推進を図ること。

下半期

男女共同参画に関する事業(講演・セミナー等)について、様々な内容により市民の参加や関心を持つ対応となっている。今後も実行委員会と連携し更に充実した啓発事業が展開できるよう取り組むこと。また、女性委員登用への対応についても担当課と所管課の連携を図ることによる改善が進んでいる。